

# 浦添市教育情報化推進計画

(平成24年度～平成28年度)

浦添市情報教育推進委員会

平成24年 5月

## 目 次

1	計画策定の基本的な考え方	1
	(1) 計画策定の趣旨	
	(2) 計画の期間	
	(3) 計画の推進及び進行管理	
	(4) 推進体制	
2	第3次浦添市情報教育推進計画の成果と課題	3
	(1) 成果	
	(2) 課題	
3	本市における情報教育の現状と課題	5
	(1) コンピュータ操作に関する児童生徒の実態	
	(2) コンピュータ操作及び利用に関する教師の実態	
	(3) 国・県・浦添市の教育の情報化の実態調 (文部科学省 平成23年8月 抜粋)	
4	情報教育の基本的な考え方	7
5	浦添市教育情報化推進計画(平成24年度～平成28年度) の具体的な取り組み	8
	(1) 児童・生徒に適切な情報活用能力を身につけさせる	
	(2) ICTを活用して「わかる授業」を実践する	
	(3) 教員の校務の軽減化・効率化を図る	
6	情報教育推進計画表	11

## 1 計画策定の基本的な考え方

### (1) 計画策定の趣旨

我が国では、平成 13 年に高度情報通信ネットワーク社会形成基本法が施行され、数々の国家戦略が打ち立てられ、取り組まれてきた。近年では「教育の情報化ビジョン」(平成 23 年)で、子どもたち一人一人の能力や特性に応じた学び(個別学習)、子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び(協働学習)を推進するとして、取り組むべき施策が示された。学習指導要領にも情報化に対応する教育内容が明確に打ち出され、文部科学省は「教育の情報化に関する手引(平成 22 年)においては「教育の情報化」の方向性を示し、これらをとおして教育の質の向上を目指すとした。

本県においては、平成 13 年「沖縄 e-island 宣言」及び「情報通信関連分野の人材育成に関する基本方針」が策定され、特に、児童生徒については、活力ある社会の形成者としてネットワーク社会に対応できるように、情報活用能力の育成を重要施策の一つとして位置づけている。

沖縄県教育委員会においては、平成 14 年に策定した「沖縄県教育情報化基本計画」(平成 14 年度～23 年度)で教育の情報化を総合的かつ一体的に具現化するための取組みを進めた。さらに、平成 24 年度には「沖縄県教育情報化基本計画」(平成 24 年度～33 年度)が策定され、学校教育分野、社会教育分野、教育行政分野ごとに示されている施策の基本方向に基づき、取り組むべき内容及び目標が示された。

浦添市の学校教育面では、「第 1 次浦添市情報教育推進計」の平成 15 年度を皮切りに、3 次まで計 9 年間にわたり教育への情報通信技術(以下「ICT」という)利用促進に努めた。特に、電子黒板や大型地デジテレビの配備、ネット回線の高速化等のインフラ整備及び、研修会等を充実させたことは、学校 ICT 化を促進し、ICT を活用した学習指導により、授業の質的向上も図られた。

平成 24 年度からの「浦添市教育情報化推進計画(平成 24 年度～平成 28 年度)」では、電子黒板や大型地デジテレビと併せ、「電子教科書」の活用促進及び、その他 ICT 機器の有効活用をとおして、これまで以上に、教師は確かな学力向上のために、「わかる授業」を構築していきたい。また、校務用コンピュータの充実と併せて、校務支援システムの導入やグループウェアの活用を行い、教師の事務作業の軽減を図り、その分の時間を子どもと関わる時間にあて、心身共に健全な子どもの育成に寄与していきたい。

### (2) 計画の期間

平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 か年とする。

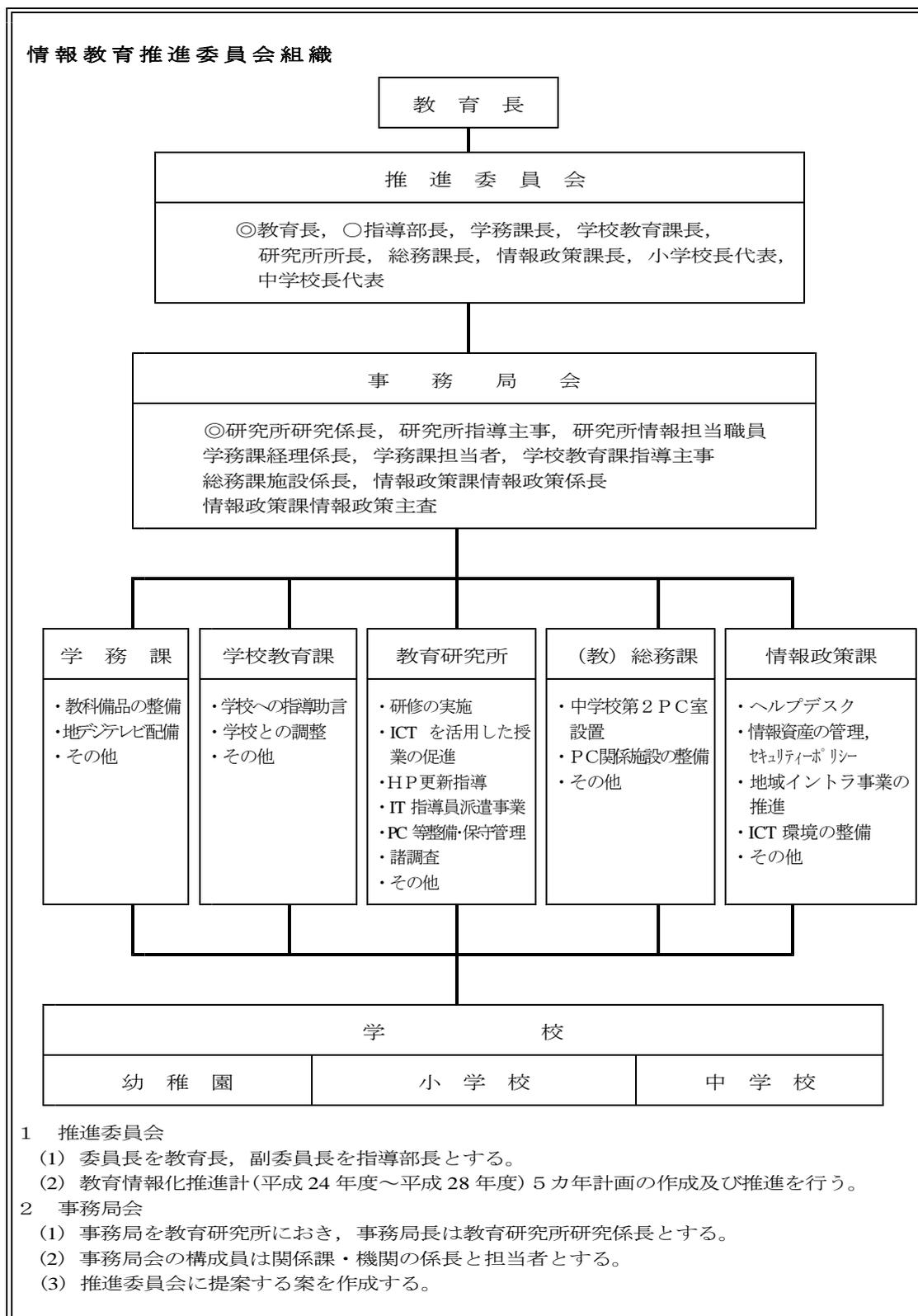
### (3) 計画の推進及び進行管理

本計画の推進にあたっては、進捗状況や問題点等について継続的に点検を行い、その円滑な推進に努める。

ICT の分野は、技術の進歩が目覚しく、教育の情報化を推進するにあたっては、取り組み内容が時代の進展に即し、より効果的・効率的なものになるよう留意する必要がある。そこで、本計画については、国及び県の動向や情勢の変化等に応じて適宜見直しを行う。

#### (4) 推進体制(組織図)

##### 情報教育推進委員会



## 2 第3次浦添市情報教育推進計画の成果と課題

第3次情報教育推進計画は、社会の状況を背景に新学習指導要領への円滑な対応や今後の情報化社会へ対応できる人材を育成するために、本県の教育情報化推進計画(平成21年度)に示された基本方針を踏まえ本市における安全で効率的な情報教育を推進するために策定され、着実に成果を上げてきた。

### (1) 成果

#### ① ICT 機器及び教育用ソフトの新規配備

- ・ノートパソコンの配備(買取)(小:151 中:100 計251台)
- ・小学校コンピュータ教室用機器の切り替え。(平成22年度 各校41台 計451台)
- ・教育用ソフトの継続配備  
(ラインズ(小学校のみ)・Edumall・情報モラル教育のwebコンテンツ等)
- ・普通教室・特別教室への地デジテレビの整備(学務課437台)  
(教育研究所より仲西中学校へ26台:国の調査研究委託事業による「貸与」)
- ・電子黒板の整備(学務課より「大型電子黒板」を各学校1台)  
(教育研究所より仲西中学校へ「大型電子黒板」2台,地デジテレビ設置用タッチパネル型電子黒板26台:国の調査研究委託事業による「貸与」)
- ・電子教科書の整備(学校教育課 小学校:平成23年度整備,中学校:平成24年度)

#### ② 小学校の地デジテレビ常設用デスクトップパソコンの配備

- ・小学校コンピュータ教室で利用していた,リース切れデスクトップパソコンを地デジテレビに常設化することにより,日常的にICTを活用した授業に取り組めるような環境づくりに寄与した。

#### ③ 老朽化した校内LAN機器の整備

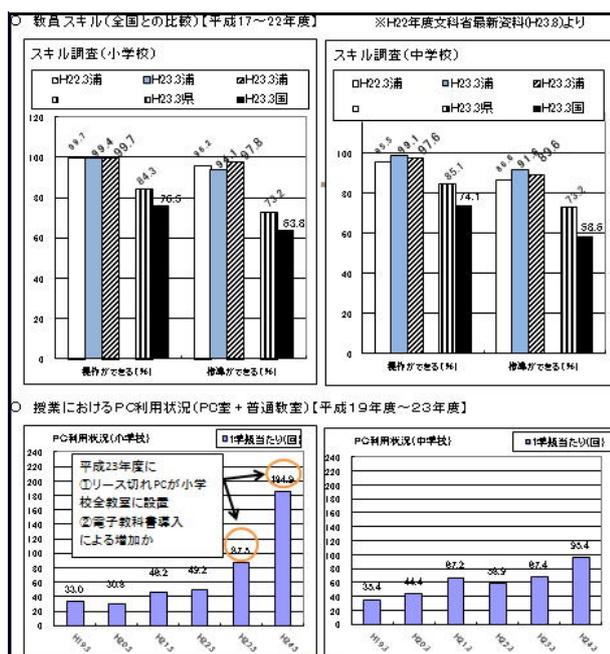
- ・防衛局再編交付金の活用や校舎建て替えに伴い,同型機での校内LAN設備入れ換えを完了。(未整備校は浦添小学校のみ)

#### ④ インターネット回線の高速化

- ・各学校で光高速回線に切り替わったことにより,インターネット回線の高速化を実現できた。

#### ⑤ 各種コンピュータ講座の開催

- ・管理職講座や夏期コンピュータ講座,各学校での校内研修などを開催し,各学校でのICTを活用した「わかる授業」の展開に寄与した。



⑥ IT指導員の学校派遣

- ・小中学校への授業支援及び教師支援、校内研修や夏期コンピュータ講座、各学校のニーズに応じた出前講座の講師として、IT指導員を派遣できた。

平成23年度 浦添市立教育研究所 【IT指導員数4名】  
 学校派遣IT指導員の作業集計表 (平成23年4.1~3.31)

作業区分	作業区分	総数	割合
1:授業支援	区分1	778	13.4%
2:先生支援指導	区分2	672	11.6%
3:校内研・講座	区分3	407	7.0%
4:PC等の保守	区分4	2310	39.9%
5:PC等修繕	区分5	730	12.6%
6:その他 <small>(調整会議など)</small>	区分6	888	15.4%
	<b>総数</b>	<b>5785</b>	

4名のIT指導員のおおよその活動時数

⑦ 学校ホームページ

- ・幼小中学校ホームページの必要性・利便性への認識が深まり、ほとんどの学校で積極的な更新が行われるようになった。特に、全国の小学校ホームページを対象としたコンテスト、J-KIDS 大賞では、毎年数校が県優秀校に選ばれている。

⑧ 各学校コンピュータ機器の保守管理

- ・IT指導員が定期的に小中学校を巡回し、機器のメンテナンス等を行うことにより、トラブルの未然防止やウイルス対策等の対応が迅速に行えるようになった。

⑨ 各学校の情報教育推進計画等の改訂

- ・平成20年度に作成した情報安全に関する規定等を改訂し、情報セキュリティー対策の強化に役立てた。
- ・情報モラル教育の年間指導計画の3年ぶりの見直しを行った。

(2) 課題

- ① 日常的に ICT 機器が活用できるよう準備に時間がかからなく容易に使える ICT 機器を普通教室や特別教室に配備する必要がある。
- ② さらなる ICT 配備と活用の推進
  - ・国は、「教育用コンピュータ1台あたりの児童・生徒の数」を3.6人に、「校務用コンピュータの数」を教師1人に1台の割合になるよう配備を推進している。しかし、平成24年3月末時点で、浦添市の教育用コンピュータ1台に対して9.0人の児童・生徒数の割合である。また、校務用コンピュータ1台に対して1.4人の教師の割合となっている。継続的な整備計画が必要である。
- ③ 中学校第2コンピュータ教室の整備（残り3校）
  - ・本市の中学校は、中規模及び大規模な学校が多く、コンピュータ教室が1室では、技術・家庭科以外の教科の計画的な利用が困難な状況である。他の教科等も活用できる環境（施設）を整えることが必要である。
- ④ 計画的な情報モラル教育の実践
  - ・情報モラル教育を確実に実施するには、学習年間計画に意図的・計画的に位置づける必要がある。
- ⑤ 学校におけるウイルス対策や個人情報保護などの情報セキュリティー対策が必要。
- ⑥ 市立小中学校同一の校務支援システム導入を目指す。

### 3 本市における情報教育の現状と課題

#### (1) コンピュータ操作に関する児童生徒の実態

##### 【基本操作】

コンピュータの基本操作に関しては、ほとんどの児童生徒が習得している。特に、コンピュータの起動、終了は小学校4年以上の全学年でほぼ100%の児童生徒ができています。また、ファイルを開く、保存、印刷、文字入力に関しても年々スキルの向上が伺える。今後も、指導計画のもと段階的な指導を行う必要がある。

##### 【ネットワーク】

学習においてインターネットを活用した情報収集の仕方について、学年があがるにつれて技能定着がみられる。今後は各学年段階に応じ学習活動のなかでの計画的な活用を行い、技能の定着を図る必要がある。

##### 【周辺機器の利用】 デジタルカメラの利用経験と利用技能

利用に関して、小：76%・中78%程度である。今や各家庭に広がっている機器とあって、多くの児童生徒が広く利用している。

##### 【電子メールの利用経験】

携帯を利用したメールの送受信は、多くの児童生徒が経験している。コンピュータを利用した電子メールの送受信は、中学生で約30～45%程度である。今後、授業での活用方法等について見直し、情報発信の有効性や重要性について理解を図り、基本的な技能を身につけさせるとともに、情報モラルの指導を徹底していきたい。

##### 【家庭でのコンピュータ利用】 コンピュータの普及とインターネットの接続

約8割の家庭でコンピュータを所持している。インターネットへの接続状況も約9割に達しているが、利用に関しては、小：85%・中：90%程度である。学校教育での利用の充実に伴い、日常的な利用が広がっている。

##### 【授業経験】 コンピュータの授業経験

ほとんどの児童生徒がコンピュータの授業を経験しており、楽しいと感じている。

##### 【まとめ】 小・中学校における現状

各家庭へのコンピュータ普及が約80%になり、日常的に利用されている。

本市小学校において、基本的な操作技能は、学年進行に伴い、ほとんどの児童が身につけている。学年を問わず、子ども自身のファイルの管理や学習での活用を考えたときに「保存や印刷」等の基本的な操作は、年々向上してきているがまだ課題がみられる。学校の現状としては、消耗品との関係から印刷を制限しているケースもあり、財政的な支援が必要である。

本市中学校においては、技術科を情報教育推進の核として、授業における情報手段の活用を一層充実させるよう計画の継続的見直しが必要である。

なお、各学年に応じた情報教育の内容を継続的に見直し、その指導を推進することが重要になる。データ保存や印刷等に関するスキルの向上とあわせて、情報モラル教育の充実も重要となってきている。

## (2) コンピュータ操作及び利用に関する教師の実態

### 【基本操作】コンピュータの基礎的操作事項

コンピュータの基本操作に関しては、ほとんどの教職員が習得している。

### 【ソフトと利用】コンピュータソフトの操作技能、プレゼンテーションの経験

研修会等の計画的な実施により、年々技能が向上している。

### 【授業】コンピュータを使った授業の経験

小：94%・中：79%となっている。情報活用能力を育てる視点から年間指導計画の継続的見直しと、ハード面の計画的な整備が必要である。

### 【情報モラルの授業経験】

情報の有効性と重要性についての理解と情報化の影の部分にいて、児童生徒に指導できるよう、教職員の指導スキルを向上させる必要である。

### 【まとめ】本市の教職員のICT活用に関する現状

本市中学校における「コンピュータで指導できる教員」の割合は、沖縄県の平均を大きく上回っている。特に、平成23年度と平成24年度に段階的に導入された「電子教科書」は、学校現場の授業の形態を大幅に変革させることが予想される、さらなるスキルアップが見込まれる。また、段階的なコンピュータや周辺機器の入れ換えや電子黒板の導入も、教職員のスキルアップに拍車をかけているものと考えられる。

今後は、「わかる授業」の構築のための機器活用を推進したい。あわせて、教育用コンテンツの活用、自作の電子教材等の共有化を図ることにより、授業の質の向上と、校務の情報化・幸地塚を推し進めていきたい。

## (3) 国・県・浦添市の教育の情報化の実態調(文部科学省 平成23年8月 公表)

教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)・・・県平均:6.4人/台(全国30位)							
	小学校		中学校		平均		備考
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
浦添市	9.8	9.6	7.5	7	9	8.6	
沖縄県	9.1	8.5	7.4	6.8	6.7	6.4	
国	8.1	7.6	6.7	6.4	6.8	6.6	

一学校あたりの電子黒板の整備台数(台/校)・・・県平均:1.1台(全国34位)							
	小学校		中学校		平均		備考
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
浦添市	7	7	7.2	7.2	4.7	4.7	
沖縄県		1.3		1.3		1.1	
国		1.7		1.4		1.7	

教育用コンピュータの整備率(%)・・・県平均:85.5%(全国42位)							
	小学校		中学校		平均		備考
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
浦添市	74.4	79.2	60.9	62.5	67.7	70.9	←リース切れノートPCを入れるとひとり1台を達成
1台あたりの使用人数	1.3	1.3	1.6	1.6	1.5	1.4	
590	86.3	65.0	86.6	66.6	85.5		
1台あたりの使用人数	1.7	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	
国	74.5	95.5	73.5	94.7	79.9	99.2	
1台あたりの使用人数	1.3	1.0	1.4	1.1	1.3	1.0	

校務支援システムの整備率(%)…県平均:48.9%(全国25位)							
	小学校		中学校		平均		備考
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
浦添市		<b>18.2</b>		<b>80.0</b>		<b>37.5</b>	←4中学校が県総合教育センターの校務支援システムを導入済み
沖縄県		34.3		60.0		48.9	
国		46.5		55.3		52.3	

デジタル教科書導入済みの学校の割合(%)…県平均:9.9%(全国28位)							
	小学校		中学校		平均		備考
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
浦添市		<b>9.7</b>		<b>0.0</b>		<b>6.3</b>	←次年度は小学校100%に、中学校は導入初年度
沖縄県		13.1		8.4		9.9	
国		15.5		14.1		13.5	

教員のICT活用指導力の調査で「わりこできる」「ややできる」と回答した教員の割合(%)							
①教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力…県平均:85.4%(全国4位)							
	小学校		中学校		平均		備考
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
浦添市	<b>99.7</b>	<b>99.4</b>	<b>95.5</b>	<b>99.7</b>	<b>97.6</b>	<b>99.3</b>	
沖縄県	84.1	84.3	83.2	85.1	84.9	85.4	
国	74.0	76.5	72.1	74.1	73.9	76.1	

②授業中にICTを活用して指導する能力…県平均:72.5%(全国6位)							
	小学校		中学校		平均		備考
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
浦添市	<b>96.2</b>	<b>94.7</b>	<b>86.6</b>	<b>97.6</b>	<b>97.4</b>	<b>92.9</b>	
沖縄県	69.2	73.2	69.6	73.2	71.8	74.5	
国	59.5	63.8	55.1	58.6	58.5	62.3	

#### 【まとめ】本市の教職員のICT活用に関する現状

国は、「教育用」「校務用」コンピュータをそれぞれ 3.6 人/台、1 人/台の割合になるよう整備を推進している。しかし、平成 24 年 3 月末時点で、本市の教育用コンピュータは 9.0 人/台、校務用コンピュータ 1.4 人/台の割合となっている。継続的な整備計画と電子黒板の増設、小学校への校務支援システム整備も今後の課題である。

## 4 情報教育の基本的な考え方

### (1) 情報教育推進のための基本的な視点

文部科学省では、平成 22 年 10 月、小・中学校等の新学習指導要領に対応した「教育の情報化に関する手引」の冒頭で次のように述べている。

<p>教育の情報化について「教育の情報化」とは、特に指導場面に着目したときの従来からの整理とともに、昨今の教員の事務負担の軽減等の観点も含め、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報教育 ～子どもたちの情報活用能力の育成～</li> <li>2. 教科指導における ICT 活用 ～各教科等の目標を達成するための効果的な ICT 機器の活用～</li> <li>3. 校務の情報化 ～教員の事務負担の軽減と子どもと向き合う時間の確保～</li> </ol> <p>の3つから構成され、これらを通して教育の質の向上を目指すものである。そして、その実現において教員の ICT 活用指導力の向上（研修等）、学校におけ ICT 環境整備が必要であるとともに、教育の情報化を推進するための教育委員会、学校におけるサポート体制の整備が極めて重要である。</p>
---

さらに、平成 23 年 4 月「教育の情報化ビジョン ～21 世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して～」では、教育の情報化で次のことを目指している。

子どもたちの学習や生活の主要な場である学校において、教育の情報化を推進し、教員がその役割を十分に果たした上で、情報通信技術を活用し、その特長を生かすことによって、一斉指導による学び（一斉学習）に加え、子どもたち一人一人の能力や特性に応じた学び（個別学習）、子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）を推進していくことができる。具体的には、教育の情報化は、次の3つの側面を通して教育の質の向上を目指している。

- ① 情報教育 ～子どもたちの情報活用能力の育成～
- ② 教科指導における情報通信技術の活用  
～情報通信技術を効果的に活用した、分かりやすく深まる授業の実現等～
- ③ 校務の情報化  
～教職員が情報通信技術を活用した情報共有によりきめ細かな指導を行うことや、校務の負担軽減等～

これらのことを受け、沖縄県教育情報化推進計画(平成24年度～平成28年度)では、学校教育分野における取組みとして、以下の3つを挙げている。

1. 情報教育 ～情報活用能力の育成～
2. 授業における ICT 活用の推進 ～分かりやすく深まる授業の実現～
3. 校務の情報化の推進 ～教育の質の向上に向けた時間の確保から

そこで、本市においては、国や県の観点を踏まえ次のような視点で情報教育を推進する。

1. 児童・生徒に適切な情報活用能力を身につけさせ ICT を活用した学習活動ができる能力（情報モラルを含む）を身につけさせる。
2. 教員が日常的に ICT を活用して、「わかる授業」が展開できる能力（情報モラルとセキュリティに関する指導を含む）と意識を持たせる。
2. 教員の校務の軽減化・効率化を図ることで、児童・生徒と向き合う時間の確保と教育の質の向上を図る。

## 5 浦添市教育情報化推進計画(平成24年度～平成28年度)の具体的な取り組み

### (1) 児童・生徒に適切な情報活用能力を身につけさせる

今やインターネットをはじめ情報通信ネットワークは当たり前利用される時代である。今後も「生きる力」の一つの手段として、社会の変化に対応した情報活用能力を身につけさせる必要がある。また、教師はインターネットの世界で起きていることを把握し、児童生徒が将来、インターネット上で問題に直面しないように情報モラル教育を意図的・計画的に行う必要がある。

- ① ICT 環境の一層の整備
  - ・普通教室や特別教室で日常的に手軽かつ効果的に使える ICT 環境の整備を行う。
- ② 情報モラル教育の充実
  - ・年間指導計画へ意図的・計画的に情報モラル教育を位置づけさせる。
- ③ 児童生徒の主体性を生かすソフトの導入
  - ・仲間と話し合いながら作品を作成することができるソフトの活用を推進する。
- ④ ICT 機器の安心・安全な活用
  - ・児童生徒が安全なインターネット環境で学習が行えるように、有害情報のフィルタリングやウィルス対策ソフトの適切な運営を行う。

## (2) ICTを活用して「わかる授業」を実践する

日常的に ICT を活用して指導を行うことは、指導の改善、学力向上のためにはかせない。ICT を活用するために特別な授業を行うのではなく、それぞれの教員が経験を積み重ねて得られた普段の授業での指導力にICT活用が組み込まれるように、コンピュータ教室は勿論、普通教室での ICT 環境を整えることが必要である。

### 教育委員会（研究所）

- ① 電子黒板や大型画面の地デジテレビ等周辺機器の充実
  - ・児童・生徒の視覚や聴覚を刺激して、授業への興味・関心を高める映像、聴覚機器の配備を行う。
  - ・各教室で ICT 機器が日常的に使えるようにするため、各教室に常設するためのコンピュータや周辺機器を配備する。
- ② 教師の ICT を効果的に活用しての指導力向上
  - ・校内研に IT 指導員やメーカーのインストラクターを派遣して、教師の ICT 活用を含めた指導力の向上を図るための研修を実施する。
  - ・各学校の実態に応じ、年間を通して研修を行い、職員の情報教育に対する資質向上を図る。研修を行う際は、研修の目的を明確にして体系的な研修を行う。
  - ・夏期研修講座を開催する。
  - ・ICT 機器の操作に関して、IT 指導員を全小中学校に派遣する。
- ③ 授業に有効なコンテンツの活用
  - ・授業の導入や展開、まとめ、応用、繰り返し学習ができるコンテンツを各教室から即座に使えるよう、環境整備を継続的に行う。
- ④ コンテンツの紹介
  - ・研究所のホームページに授業で活用できるコンテンツの紹介や教材作成に役立つ情報を掲載する。
- ⑤ コンテンツの作成
  - ・小中学校の先生方へパワーポイント等を用いての簡易的な教材作りの紹介を行い、自作のコンテンツづくりをすすめる。
- ⑥ コンテンツの蓄積
  - ・全小中学校からアクセス可能な地域イントラ内に、教育用として利用が自由に行えるコンテンツや自作のコンテンツを蓄積するためのフォルダを設置する。

### 各小中学校

- ⑦ 各学校における情報教育の推進
  - ・諸教育活動を調整、統合し、情報化推進計画を作成する。
  - ・校内情報化推進計画に盛り込まれる内容としては、以下の項目を含むものとする。
    - ア 校内の情報化に関する目標、基本的方針
    - イ 各教科における情報活用能力の育成や ICT の活用に関する年間指導計画
    - ウ コンピュータ教室等の使用計画
    - エ 学校の情報化に関する年間研修計画
    - オ 情報化を推進する校内組織
    - カ セキュリティ、個人情報保護、情報モラルなど情報安全管理に関する規程等
  - ・各学校の実態に応じ、年間を通して研修を行い、職員の情報教育に対する資質向上を図る。研修を行う際は、研修の目的を明確にして体系的な研修を行う。
  - ・学校ホームページの更新を継続し、教育活動その他の学校運営の状況等について、保護者や地域住民へ積極的に情報の提供及び公開を行い、学校理解に寄与する。

### (3) 教員の校務の軽減化・効率化を図る

校務が効率的に遂行できるようになることで、教職員が児童生徒の指導に対してより多くの時間を割くことが可能となる。また、各種情報の分析や共有により、今まで以上に細部まで行き届いた学習指導や生徒指導等の教育活動が実現できるなど、様々な恩恵を受けることができる。

- ① 校務の軽減化・効率化の体制作り
  - ・各学校において教育の情報化を推進するための校内体制を整える。
  - ・情報教育を進めるにあたって管理職のリーダーシップのもと情報教育の重要性や必要性について、全職員と共通理解を図り、協力して取り組んでいくようにする。
  - ・情報教育を推進できる校内のリーダーとなる人が必要である。校内においては情報教育の全体計画案を作成したり、校内、各学年（各教科）における情報教育を推進するために情報教育主任を位置づける。
  - ・学校ホームページにおける情報発信については、各学校の教育情報化推進委員会等でその内容を検討し、校長の判断のもとで行う。
- ② 故障やアップデートへの即対応
  - ・ICT機器のトラブルについてのマニュアルに従って対応する。
- ③ グループウェアの導入
  - ・市内の学校関係機関の情報のやりとりは、グループウェアとして利用できるメールシステム「aipo」の活用を推進し、事務作業の軽減化・効率化を図る。
- ④ 教師一人に対して1台のコンピュータの配備
  - ・コンピュータを利用して情報収集や教材作成、校務が効率的に行えるよう、国の示す基準（教師一人に対して1台のコンピュータの配備）を実現する。

本市の情報セキュリティに関する考え方

○本市のネットワーク利用規程を踏襲する

- ・ネットワーク利用に関しては、校長をはじめ全職員で情報の重要性や必要性について十分共通理解を図る必要がある。その際、本市のネットワークの構成及び教育委員会から示された規程を踏まえ、各学校の情報教育の目標に照らし合わせた規程を策定し、運用する。

○ネットワーク利用規程内容

- ・個人情報の保護の視点に立つ
- ・情報の影について、学習内容と合わせて規程を策定する
- ・情報管理者をおき、ネットワークの利用状況について把握できる体制を整える
- ・全職員の共通理解のもと、必要に応じて規程の見直しを図る。

※各学校の情報安全管理に関する規程は、県教育委員会が策定したIT安全管理マニュアル及び沖縄県個人情報保護条例等を参考に、以下の内容を含むものとする。

- ・浦添市立小中学校インターネット利用におけるガイドライン
- ・浦添市立小中学校における教育用ネットワークの管理運用規定
- ・浦添市立小中学校個人情報保護方針
- ・浦添市立小中学校電子データの取り扱いに関するガイドライン
- ・浦添市立小中学校コンピュータウイルス対策基準
- ・浦添市立小中学校コンピュータウイルス対策マニュアル

6 情報教育推進計画表

浦添市教育情報化推進計画表(平成24～28)(案)【平成25年2月改訂】

推進計画の内容		H24 年度 2012 年度	H25 年度 2013 年度	H26 年度 2014 年	H27～28 年度 2015～16 年度
I C T 環 境 の 整 備	①教育用 コンピュータ の整備 (リース契約)	小学校 11小学校にPC室・普通教室へデスク トップ PC 配備	整備目標に向け引 き続き取り組む 5 中学校の PC室への 新型機配備 4 中学校の普 通教室へ旧型 機配備	2 中学校のXP →Vistaへの切 り替え	11小学校にPC室 ・普通教室へデスク トップ PC 配備
	②校内 LAN の整備	設備の維持・管理			
	③学校ごとに光ケーブル接続 高速インターネット接続	引き続き取り組む			
	④安全なネットワーク環境の 維持・整備	設備の保守・点検（地域イントラ、及び各学校 フィルタリングソフトの更新			
	⑤周辺機器の整備	整備目標を設定して取り組む			
	⑥第2 コンピュータ室の整備	計画・実施			
	⑦電子教科書【H23.2.7 追加】	H23小・H24中学校 導入 有効活用			
教 員 の I C T 指 導 力 の 向 上	①夏期コンピュータ講座の 実施	引き続き取り組む			
	②校内研修等における I T 指 導員の派遣	引き続き取り組んでいきたい			
	③情報化を推進する校内体制 の整備	校内情報教育推進委員会の設置			
	④情報教育推進リーダーの育成	PC 主任研修会の継続実施			

推進計画の内容		H24 年度 2012 年度	H25 年度 2013 年度	H26 年度 2014 年度	H27 ~ 28 年度 2015 ~ 16 年度
ICT教育の充実	①小中段階に応じた情報教育の実践	各学校：計画に基づいた実践 研究所：調査・教材整備・指導			
	②各教科等におけるICT活用の促進	各学校：計画に基づいた実践 研究所：調査・ICT機器整備・指導			
	③教育用コンテンツ活用の促進	各学校：各種コンテンツの活用 研究所：調査・コンテンツ整備・指導			
	④発達段階や学習内容に応じたICT機器の活用	コンピュータスキルの調査・指導改善			
	⑤学習支援人材の活用	IT指導員の活用			
	⑥コンテンツ開発事業	長期研究員・現場教員による開発			
	⑦家庭学習におけるICT活用【H24.4.1追加】	調整・施行・運用			
	⑧情報モラル教育の促進【H24.4.1追加】	各学校：計画に基づいた実践 研究所：調査・教材整備・指導			
校務の情報化	①教員用コンピュータの整備（1人に1台整備）	整備目標に向けて段階的に整備			
	②学校ホームページ更新促進	各学校：更新作業の継続			
	③メール及びメルマガジンによる情報の伝達・共有	調整・施行・運用			
	④グループウェアの整備（aipoで当面代替）	調整・施行・運用			
	⑤校務支援システム（児童・生徒情報管理システム）の整備【H24.4.1追加】	小学校3校で試験運用	全小中学校で同システムの運用を目指す		
	中学校5校で運用				

推進計画の内容		H24 年度 2012 年度	H25 年度 2013 年度	H26 年度 2014 年度	H27 ~ 28 年度 2015 ~ 16 年度
①浦添市	②教育委員会 ③各学校				
②教育委員会					
③各学校					
各学校における情報教育推進計画の改訂と実践 (1) 目標、基本の方針 (2) 各教科年間指導計画 (3) PC 教室等の使用計画 (4) 情報化年間研修計画 (5) 情報安全管理規定 (6) 情報モラル教育年間指導計画		改訂	改訂案を『教育委員会版』とし、推進計画に基づいて実践		

教育用及び校務用コンピュータのリース計画

P C 種類	年度						
	平成 24 年度 2012 年度	平成 25 年度 2013 年度	平成 26 年度 2014 年度	平成 27 年度 2015 年度	平成 28 年度 2016 年度	平成 29 年度 2017 年度	
①小学校 P C 室 (5 年リース)		入札 導入			入札 導入		
	H22~H26		H27~H31				
②中学校 P C 室 (5 年リース)	入札 導入	H25~H29				入札	
③ LAN 用ノート P C 小中 (5 年リース)	入札 導入	H25~H29				入札	
④図書管理用 P C (5 年リース)	入札 導入	H25~H29				入札	
⑤校務用ノート P C (買取・5 年リース)	補正予算で整備(買取)		入札 導入	H27~H31(5 年リース)			
⑥研究所研修用 P C (5 年リース) 【H24.4.1 追加】	入札 導入	H25~H29				入札	

# 資料編

資料 1	: 沖縄県教育情報化推進計画(平成 24 年度～平成)28 年度) 学校教育分野における取組みの概念図	・ ・ ・ ・ ・ 1
資料 2	: IT 指導員派遣計画 担当校一覧	・ ・ ・ ・ ・ 2
資料 3	: 平成 23 年度学校派遣 IT 指導員の作業集計表	・ ・ ・ ・ ・ 4
資料 4	: 教職員の研修・コンピュータスキル・授業での ICT 活用状況	・ ・ ・ ・ ・ 5
資料 5 - 1	: 平成 23 年度浦添市立教育研究所研修・講座等一覧	・ ・ ・ ・ ・ 6
資料 5 - 2	: 平成 23 年度浦添市立教育研究所夏期講座一覧	・ ・ ・ ・ ・ 8
資料 5 - 3	: 平成 23 年度浦添市立教育研究所 IT 指導員実施の各学校 におけるミニ研修一覧	・ ・ ・ ・ ・ 9
資料 5 - 4	: 平成 24 年度浦添市立教育研究所開講予定研修	・ ・ ・ ・ ・ 10
資料 6 - 1	: 児童生徒のコンピュータ利用に関する(スキル)調査集計	・ ・ ・ ・ ・ 12
資料 6 - 2	: 児童生徒の情報モラルに関する調査集計	・ ・ ・ ・ ・ 16
資料 6 - 2	: 児童生徒のコンピュータスキル・情報モラルに関する アンケート調査結果の総括	・ ・ ・ ・ ・ 20
資料 7 - 1	: コンピュータ利用状況調査 年間まとめ	・ ・ ・ ・ ・ 21
資料 7 - 2	: 教育用コンピュータ利用状況調査(年間集計) 考察	・ ・ ・ ・ ・ 22
資料 8 - 1	: 教育用・校務用コンピュータの保有台数	・ ・ ・ ・ ・ 23
資料 8 - 2	: 地上デジタル対応テレビ及び電子黒板保有台数	・ ・ ・ ・ ・ 24
資料 9	: 学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果	・ ・ ・ ・ ・ 25
資料 10	: コンピュータ活用に関わる研修計画	・ ・ ・ ・ ・ 27
資料 11	: 教育研究所の修繕費について	・ ・ ・ ・ ・ 28
資料 12	: トラブル・修繕の対応の手順	・ ・ ・ ・ ・ 31
資料 13	: 各課の役割一覧(平成 14 年度～25 年度)	・ ・ ・ ・ ・ 32